

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
63

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくり」との意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)
一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存オ
フィス建設のため、カンボジアに赴任。2005
年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」
をオープンする。現在は、建築設計とレストラ
ン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺
跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人
材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援
活動を行っている。

MoiMoi Life in Siem Reap Literacy of Youth in Village

It is surprising to see how many children stop going to school in the village. Though many of them enter elementary school, one quarter of them quit before second grade, with two thirds of them leaving school before the sixth grade.

Children are an important source of labor for the family even when they are still young. One of the serious problems that stems from this is that the children who are not continuing their education are often illiterate as a result. About half of the staff of Café Moi Moi, my café in Siem Reap, did not complete their elementary school education. Many of them said that they were illiterate or did not have confidence with reading and writing.

It was shocking for me that the people living with me may not have had a chance to read books at any stage in their lives.

読み書きができない村の若者たち

アンコール・クラウ村で驚いたのは、子供たちの発育状態だけではありません。他にも、小学校在学中の退学者数の多さなどがありません。村の小学校の黒板に書かれた数年分の生徒数リストをみると、毎年、1年生のうちに約四分の一の生徒が、6年生までに三分の二以上の生徒が学校に来なくなることがわかるのです。

小学校1年生にもなれば、村の子供たちは各家庭の重要な労働力。田植えや稲刈りの時期には学校を休んで手伝いに駆り出され、また、放牧牛の世話や弟妹の面倒をみるために学校に行くことのできない子供も多いのです。

深刻なのは、小学校1年生で退学した場合、母国語の読み書きができないまま大人になることです。そして現在、村には字が書けない若者がたくさんいることもわかりました。例えば、カフェ・モイモイスタッフやクロマーの織子として私の身近で仕事をしている村出身の20歳前

後の女性たち。最終学歴を聞いてみたところ、なんとその半数が「小学校1年生」と答えたのです！読み書きの自己評価は、「全くできない」または「自信がない」。

今、同時代を生きて、共に仕事をしている若者が、書物や一切読むことなく人生を送る...



手をとって文字を教える小学校の先生
I visited Hakozaki-cho in Kamaishi,

その世界を想像するだけで、深い闇の中へ引きずり込まれるような思いがしました。と同時に、町に暮らし、日々の仕事に追われている間に、周りに映る世界の表面を眺めていただけの自分にも気付いたのです。